

性能試験データ

項目	試験方法・条件・試料	結果及びデータ		予測される実際効果																																								
		試験結果	データ																																									
摩耗度 (Abrasion)	テーバー摩耗度試験機 (Taber Abrasion Tester) 荷重：U-22 100サイクル	耐摩耗性が29.7%増大した。 <p>摩擦した粉塵の量</p> <p>減量 (グラム)</p> <p>未処理コンクリート: 0.68725 A/F処理コンクリート: 0.48325</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">未処理</th> <th colspan="2">A/F処理</th> </tr> <tr> <th>サンプルSC</th> <th>減量 (グラム)</th> <th>サンプルSC</th> <th>減量 (グラム)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>.6950</td><td>1</td><td>.4600</td></tr> <tr><td>2</td><td>.6610</td><td>2</td><td>.4960</td></tr> <tr><td>3</td><td>.7065</td><td>3</td><td>.5070</td></tr> <tr><td>4</td><td>.6840</td><td>4</td><td>.4580</td></tr> <tr><td>5</td><td>.6675</td><td>5</td><td>.5215</td></tr> <tr><td>6</td><td>.7095</td><td>6</td><td>.4570</td></tr> <tr><td>平均</td><td>.68725</td><td>平均</td><td>.48325</td></tr> <tr><td>パーセント</td><td>100</td><td>パーセント</td><td>70.3</td></tr> </tbody> </table>	未処理		A/F処理		サンプルSC	減量 (グラム)	サンプルSC	減量 (グラム)	1	.6950	1	.4600	2	.6610	2	.4960	3	.7065	3	.5070	4	.6840	4	.4580	5	.6675	5	.5215	6	.7095	6	.4570	平均	.68725	平均	.48325	パーセント	100	パーセント	70.3	車の走行、人間の歩行などの表面摩擦によるコンクリートの粉塵の飛散防止をする。 ワダチなどの防止をする。
未処理		A/F処理																																										
サンプルSC	減量 (グラム)	サンプルSC	減量 (グラム)																																									
1	.6950	1	.4600																																									
2	.6610	2	.4960																																									
3	.7065	3	.5070																																									
4	.6840	4	.4580																																									
5	.6675	5	.5215																																									
6	.7095	6	.4570																																									
平均	.68725	平均	.48325																																									
パーセント	100	パーセント	70.3																																									
養生 (Curing)	可変環境試験機を用い、コンクリート施工後、24時間を経過した後の水分ロスを測定。 ASTM=D3359 STANDARD	未処理のコンクリートは94% (66.5/70)の水分がロスされた。 A/F処理のコンクリートでの水分ロスは49% (34.5/70)であった。	<p>施工24時間後のロス水分重量 (グラム)</p> <p>未処理コンクリート: 66.5 A/F処理コンクリート: 34.5</p>	コンクリート打設時の養生のための処置が不要となる。 処理後24時間の水分保持は、それ以降のコンクリート強度に好結果をもたらす。 防湿性はコンクリートを延命する。																																								
硬化② (Hardening) 衝撃強度 (Impact Strength)	ASTM-C805 シュミットハンマー	A/F処理試料の衝撃強度が、未処理試料より15.4%増大した。	<p>衝撃強度 (kg/cm²)</p> <p>未処理コンクリート: 39 コンクリートA/F処理: 45</p>	重量物落下、フォークによる衝撃などに好結果をもたらす。																																								
透水性 (Permeability)		A/Fで処理した4.91平方インチの面に7インチの高さに水を保持したときの、水の浸出度は1時間あたり0.0083ccであった。しかし、4~5日後には、水の浸出度はなかった。(換算値：浸出度は、1時間に1平方メートル当たり2.64ccである)		防水効果をもたらす。																																								
耐候性 (Weathering)	ASTM-G23	紫外線や水スプレーにおいてA/F処理したものは、変化しない。即ち、天候に左右されない。		コンクリートの延命効果をもたらす。																																								

●このテクニカルインフォメーションは、アシュフォードフォーミュラを適切な手段で処理した場合に得られる結果である。また、これは、指定の研究所において、一定の条件と状況の中で行われたものである。
 キュアクリートケミカル社は、このテストに、一切のクレームはありません。